

Q16

オンライン授業などを聞きやすくする方法はありますか？



方法

オンラインでの授業などを聞こえやすくする方法として、タブレットやパソコンと補聴援助システムを繋ぐ方法があります。

繋ぐための専用のケーブルは、補聴援助システムを購入した際に、セットでついてきています。このケーブルをイヤホンジャックに差し込むだけで、タブレットやパソコンからでている音声を直接、補聴器機に届けることができます。イヤホンを使用すると、耳元でよく聞こえるのと同じイメージです。

この方法は日常生活でも活用できます。テレビや携帯、ゲーム機にもつなぐことができます。（テレビで使用する場合は、機種にもよりますが、テレビ側の設定を変えることで、周囲にも音が聞こえるようになります。）



人によって、使っている補聴援助システムは異なりますので、つなぎ方など詳しく知りたい方は、聾学校までお問い合わせください。

教師が気をつけること

補聴援助システムを持っていなくても、教師が気をつけることで、聞こえやすくなる場合があります。

① マイクを使う。

聾学校では、教師の声がよく届くようにピンマイクを使っています。ヘッドホンタイプも同様ですが、マイクが口元に近いとよく音を拾ってくれます。口元にマイクがあるのとないのでは、聞き手にとって大きく違います。

② 文字で提示する。

普通の授業でも大事なことですが、オンライン授業ではより必要な手立てになります。簡潔で分かりやすいように文字情報にして提示します。事前にスライドを用意しておいたり、紙に書いて提示したり、共有画面に直接入力したりと色々な方法があります。

③ 音声変換アプリを使用する。

音声変換アプリを使用し、音声を瞬時に文字情報に変換する方法もあります。文字情報が多くなりすぎてしまうため、発達段階に応じて使用しています。また、必要な場面に絞り、部分的に活用することもできます。